

## 獅子吼

印月池には、山腹の湧き水を模した小さなせせらぎがあり、北東にある人工的に作られた丘から下って渉成園の池に流れ込んでいる。これが「獅子吼」で、その名前は水が湧き出るときの音に由来している。

建設当時は、1600年代初頭に渉成園の東側に開削された高瀬川から水を引いていた。1897年には、東本願寺と滋賀県の琵琶湖を源流とする琵琶湖疏水とを結ぶパイプラインが敷設された。このパイプラインは、主に寺の木造建築物を守るための消火対策として作られた。現在、琵琶湖疏水につながるシステムは使用されておらず、地下水を獅子吼に汲み上げて湧水を維持しているという。